

事務局だよ

冬の時代に立ち向かおう

吉田 和雄

●ここ数日一気に気温が下がり、北海道・東北などから降雪の便りが届くようになりました。東京でも、桜の葉が深紅に色づき舞い降りてきました。読者の皆さま、風邪など引かれませんか。

自然の季節は移ろうけれど、政治の世界は灰色の冬景色、冬の時代の到来でしょうか。

先日、朝日・東京新聞が、全国で35の原発発団体に235万件の脅迫めいた迷惑メールを送りつけていた「サイバーテロ」の事実を公表しました。サイバーテロの対象には、私たちがふだんから行動を共にしているたんぼぼ舎や福島原発事故緊急会議などの幾つもの原発グループ・市民団体も含まれていました。この行為は原発推進派の悪あがきなどと軽視すべきことではなく、市民の活動が活発になれば、どのような課題に対しても個人に対しても向けられるものとして受け止め、反撃していかねばなりません。

今日、参議院会館で行なわれた「どこまでやるのか? 弱い者いじめの生活保護「改革」+生活保護基準引き下げ 生活保護法「改正」にNO!」という集会で山本太郎参院議

員が挨拶。「品位がないとお叱りを受けたが、生活保護法改正に反対した議員は私を含め16人。賛成した多数の議員はきつと品位がおありなんでしょう」と会場を沸かせました。刃物の郵便物が届いていたのに、元氣な姿と発言を聞いて一安心。私は彼の天皇に対する評価は別にして、天皇に手紙を渡したという行為は直接行動として評価したいのです。そのユニークさと国の原発行政への批判、被災者、被害者への思いとともに。

●直接行動ではないが、小泉元首相の「原発即時ゼロ」発言もまた自民党安倍政権の原発推進政策と原発利権温存の勢力を揺さぶりかねない政権内部のトゲの役割を果たしています。ただし、小泉元首相のやり方は、「国民」世論+首相の権力という本質的にトップダウン方式の手法である点で、私たちができることでも、めざす政治でもないことは言うまでもないでしょう。にもかかわらず、自民党・権力の暴走、やりたい放題を、それぞれの立場や方法で少しでも揺さぶり、ほころびを拡大し、亀裂を入れていくようなことは絶対に必要です。問われているのは、市民・社会運動の側のパワーと工夫、力の集中です。

●市民の力・良識・社会運動が今もつとも力を集中し、ストップをかけなければならぬのは、やはり「秘密保護法」の成立ではないでしょうか。「何が秘密? それは秘密で



「とシャレにもならないトンデモない法律で、市民の知る権利を奪い、マスコミ・公務員を萎縮させ、アメリカの軍事・情報独占支配に協力し、国家権力に反対する市民・勢力を黙らせようという企てを私たちは決して認めないし、強く反対します。私たちの周辺でも幾つもの市民グループ・ネットワークが立ち上がり、さまざまな方法で反対運動が展開されています。集会・デモという基本的な抵抗表現にとどまらず、フラッシュ・モブ(動きのないパントマイムのようなもの)というユニークでゲリラ的な方法で駅に突然現れ、秘密保護法やTPP、改憲に反対を呼びかけている人もいます。

●市民の意見30の会も微力ながら、来年5月3日「紙上のデモ」として、市民意見広告運動を展開します。事務局では市民意見広告運動のスタッフの皆さんといっしょに11月3日にキックオフ集会をおこない、呼びかけ、賛同を皆さんのもとに発送します。

私自身もそうですが、私の友人知人にも、自分はあるヒドイ秘密保護法を阻止するためにデモや集会にも駆けつけたいが、親の介護や仕事、体が不自由などの事情で身動きが取れないと歯ぎしりしている人が何人もいます。読者の皆さんの中にもそういう立場の人はいらっしやるのではないのでしょうか。安倍政権のやろうとしている憲法改悪の動き、自民党改憲草案の危険さ、原発再稼働、TPP

推進、社会保障の切り捨て、こうした悪法やヒドイ政治の暴走になぜ市民は気づかないのか、若者は黙っているのかと。事務局会議の

読者おたより

☆こころ打たれたなださん像

東京都杉並区 宮田穂栄
吉川勇一さんの「反戦交友録」を読むのが楽しみです。139号の「なだいなださん」の回は、なださんと交流があった私にはとりわけ印象に残りました。

なださんについて書くのは、実は大変難しいと思うのです。複雑な内面を抱えつつ(nadayanadaというペンネームは若さの気負いだけではなかったはず)、モラリストとして生きたなださんの文章は、平明で論理的でユーモアに溢れ、つねにラディカルでした。吉川さんは一頁のなかに、さらりと陰翳深く「なだいなだ像」を描き出して、私は心打たれました。

☆戸井十月さん、ご冥福祈ります

神奈川県川崎市 椎野和枝
吉川さんの「バイクで世界を回った戸井十月さん」の記事は、BSの走る戸井さんの姿を追っていた私には、最期を知ることができ、

議論でもよくそういう話になるのですが、「若者にどうやって戦争の危機を伝えるか」というテーマへの答えは簡単には見つかりません。

惜しみながら納得いたしました。ご冥福を祈ります。

☆知人にも読んでほしい

兵庫県神戸市 濱本 緑
いつも読んで皆さんに頭が下がります。会報は今知人に回しています。少しでも読んでほしくて、知ってほしくて。

☆老人も頑張る

埼玉県春日部市 藤田欣弥
岸信介氏の孫が「戦争ができる普通の国」をめざしてがんばっている今、私のような老人も平和を守るためにがんばっていかねればと思うのですが、何もできないのが残念です。

☆9条が危機だ

兵庫県川西市 幸野道雄
9条の危機 共に頑張ろう！

☆政・官・財・学を裁け

東京都三鷹市 八代俊長
政官財学の電力マフィアの犯罪に裁きを。そうしなければ、ポスト・フクシマは始まらないと思います。

来年の意見広告を成功させること、まずはそこから始めていきたいと思っています。ご協力をお願いします。(よしだ・かずお/本会事務局長)

☆平和と民主主義は実現されていない

東京都杉並区 高嶋 道
今の憲法によつてなんとか守られてきた平和と民主主義。憲法の理念は、まだまだ実現されていない。それを現実させるのが政治であるのに「もう古いから、変えよう」という壊憲論には絶対反対です。

☆さんきゅうハウス支援、感謝です

東京都立川市 猪股澄子
会員の皆様にいつも「さんきゅうハウス」を支援していただき、本当に感謝しています。これからもよろしくお願い致します。

☆民衆の力の芽もある

愛知県名古屋市 江口政孝
日本の中のかなり多くの人が、平和・共生・自然を大切に方向でなく、今のおかねをえらんでしまった。それが参院選の「結果」でした。けれど、民衆の力の芽も結果からは感じることができます。本当の豊かさを求め、少しずつ対話しつつ歩んでいきましよう。

